

県民みんなでチャレンジ！ について

1 趣 旨

◎ ウェルビーイングを目指し、これだけは、子ども目線で、県民みんなでチャレンジしていこう！という重点プロジェクトのような取組み。

<考え方>

- ・メッセージを踏まえ、実際に、県民みんなが自分事として、教育の切り口で何をしていくかということを明示するもの
- ・「目標」・「県民の皆様へ（メッセージ）」と「方針」の間、「方針」間や「アクション」間をつなぎ、総合化、重点化する役割も持つ
- ・ウェルビーイングを目指すためには、挑戦（チャレンジ）していることが重要であることを踏まえ、「チャレンジ」を名称に設定

<第4回検討委員会での主な御発言（要旨）>

- ・骨子案の上段と下段にスムーズさが無い。これだけはやってほしいことについて、県民の皆さんも理解いただけるシンプルなもの、7教振で何を中核に置くのかをもっと打ち出す部分があってもよい。（三浦委員長）
- ・「県民に意識してほしいこと、毎日心がけてほしい振る舞い」のようにシンプルなものが必要（藤川委員）
- ・「県民の皆様へ」の部分が、最後まで走り切れていない印象。方針やアクションに対応しきれていない。完走するための工夫がもう少し必要（寺脇委員）
- ・方針とアクションが今後どうつながり結びついていくのか検討していく必要（池田委員）

2 4つのチャレンジ

◎ ウェルビーイングにつながる要素を4つに整理し、教育の観点で設定。

- ・政府の教育振興基本計画や委員等の「ウェルビーイング」の考え方を踏まえて4つに整理。

〔4つのチャレンジの考え方〕

チャレンジ	教育振興基本計画の整理※1	藤川委員	矢野委員 幸せの4つの力	幸せの研究における分類例※2
1 体験 「ワクワク無限大」	①獲得的要素 〔自己肯定感、 自己実現 等〕	人生をオモシロ がろう！！	立ち向かう力 (困難を学びの 機会にする)	なんとかなる (前向きと楽観)
2 探究 「「なんで？」を大切に」		「そもそもなん で？」を大切に しよう！	信じる力 (自ら進む道を見 つける力)	やってみよう！ (自己実現と成長)
3 尊重 「みんなが主役で応援団」	②協調的要素 〔利他性、 協働性、 社会貢献意識 等〕	応援しよう！	踏み出す力 (なれない人や場 でも臆せず交流する)	あなたらしく！ (ありのままに)
4 協働 「みんな笑顔で」		笑顔であろう！	楽しむ力 (偶然の機会や出 会いを活かす)	ありがとう！ (つながりと感謝)

※1 日本社会に根差したウェルビーイングの整理（両者を調和ある形で一体的に向上させていくことが重要としている）

- ① 個人が獲得・達成する能力や状態に基づくウェルビーイング（獲得的要素）・・・自己肯定感、自己実現 等
- ② 人とのつながり・関係性に基づくウェルビーイング（協調的要素）・・・利他性、協働性、社会貢献意識 等

※2 「幸せの4つの因子」（武蔵野大学「ウェルビーイング学部」（世界初）学部長で、幸福学の研究家の慶応義塾大学 前野隆司教授が科学的に抽出。矢野委員は書籍の中で、「幸せの4つの力」と概念的に重なり、両者を合わせることで「持続的な幸せ」の全体像がより理解しやすくなるとしている）